

市の予算は、使う目的別に区分しています。

各区分に掲載している事項は、令和3年度に実施した主な事業です。それぞれの区分に含まれる人件費は総額で121億円(歳出総額の15.6%)、普通建設事業費は総額で58億円(歳出総額の7.5%)です。

### 教育費 58億円

～子どもたちの教育などのために～

- 体育施設管理事業…………… 13億2,472万円  
(体育施設の管理委託など)
- 小中学校管理運営事業…………… 7億1,847万円
- 幼稚園助成事業…………… 3億 762万円
- 学校給食管理運営事業…………… 2億2,916万円

### 衛生費 54億円

～ごみ処理や健康づくりなどのために～

- 広域連合・一部事務組合負担金…………… 10億9,758万円  
(クリーンセンター、斎場、依田窪病院負担金など)
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業…………… 9億9,800万円
- ごみ処理、再資源化対策等事業…………… 8億6,908万円  
(ごみや資源物の収集・処理委託など)
- 健康事業…………… 7億3,454万円  
(各種健診や予防接種の実施など)

### 農林水産業費 27億円

～農業・林業の振興のために～

- 農業集落排水事業会計への補助…………… 8億9,603万円
- 土地改良事業…………… 7億1,260万円  
(農道整備、水路改修など)
- 農業振興費…………… 1億3,881万円  
(担い手農業者や新規就農者への支援など)
- 森林整備費…………… 1億 542万円

### 消防費 19億円

～救急・消防のために～

- 広域連合負担金…………… 16億2,610万円
- 消防団運営事業…………… 1億5,476万円  
(普通積載車の更新など)

### 災害復旧費 17億円

～被災施設の機能回復のために～

- 公共土木施設災害復旧事業…………… 10億2,739万円
- 農林水産業施設災害復旧事業…………… 6億8,812万円

### 議会費 3.6億円

～市議会の運営のために～

- 議員人件費…………… 2億6,873万円
- 議会運営事業など…………… 2,142万円  
(政務活動費交付金など)

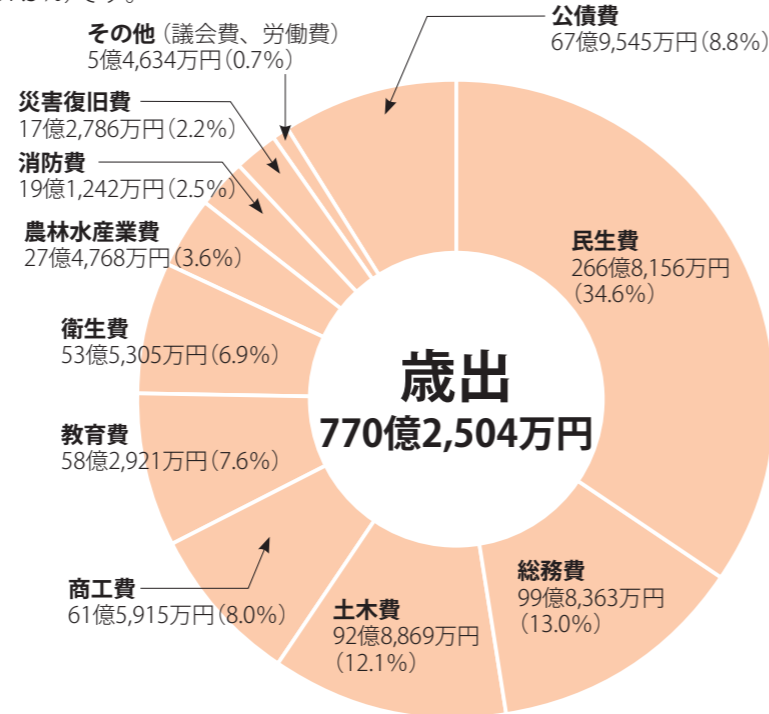
### 労働費 1.9億円

～雇用の促進と労働者福祉のために～

- 労働者福祉事業…………… 5,482万円  
(勤労者住宅建設資金預託金など)
- 雇用対策職業訓練事業…………… 4,717万円

### 公債費 68億円

～借りたお金の返済のために～



### 民生費 267億円

～福祉や子育て事業のために～

- 自立支援給付事業…………… 41億7,376万円  
(施設支援給付費、居宅介護等支援給付費など)
- 介護保険費…………… 23億8,321万円
- 保育所費…………… 23億6,869万円  
(管理、建設、民間保育所助成など)
- 児童手当支給事業…………… 23億 834万円
- 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業…………… 22億7,007万円

### 総務費 100億円

～市の一般的な事務のために～

- 市庁舎改修・改築事業…………… 5億6,009万円
- 電算業務管理運営事業…………… 4億9,124万円
- 公立大学法人長野大学関係事業…………… 3億5,731万円
- 交流文化芸術センター管理運営事業…………… 3億 327万円

### 土木費 93億円

～道路や河川などの整備のために～

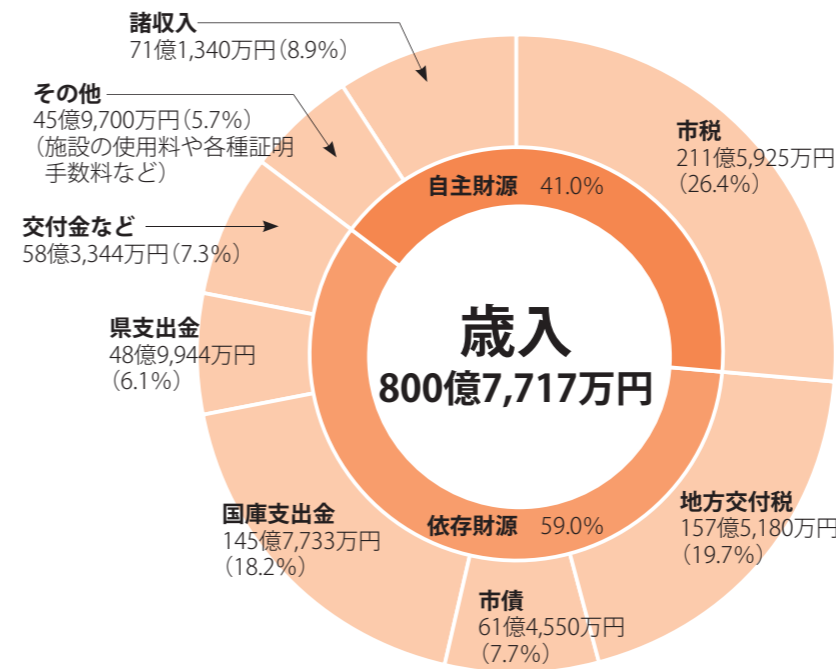
- 公共下水道事業会計への補助…………… 25億6,392万円
- 土地開発公社への貸付金…………… 22億円
- 市道新設改良事業…………… 11億1,643万円  
(箱畳線、上丸子石井線など)
- 道路維持事業…………… 6億7,849万円  
(道路の舗装工事、除雪など)

### 商工費 62億円

～商工観光の振興のために～

- 中小企業金融対策事業…………… 41億5,758万円  
(中小企業の資金繰り支援、利子補給など)
- 観光宣伝・施設整備等事業…………… 8億8,905万円  
(観光協会への負担金、観光施設の整備、管理委託など)
- 商業振興事業…………… 4億6,266万円  
(新型コロナウイルス経済対策事業など)

自主財源：市税、使用料など市が自主的に得られる財源  
依存財源：地方交付税、国・県支出金、市債など国や県の基準によって定められた額が交付される財源



### 市税に含まれる目的税(入湯税と都市計画税)の使いみち

#### ●入湯税(2,247万円)

観光施設の整備、消防施設などの整備、環境衛生施設の整備などに要する費用に充てるため、温泉の入湯客に納めていただく目的税です。

#### 【入湯税を充てた主な事業】

- | 事業費                    | 金額        |
|------------------------|-----------|
| ○観光施設の整備……………          | 309万円     |
| ○観光振興(観光施設の整備を除く)…………… | 4億8,816万円 |
| ○消防施設などの整備……………        | 2,997万円   |
| ○環境衛生施設の整備……………        | 5,408万円   |
| ○基金への繰入れ……………          | 1,700万円   |

#### ●都市計画税(10億8,385万円)

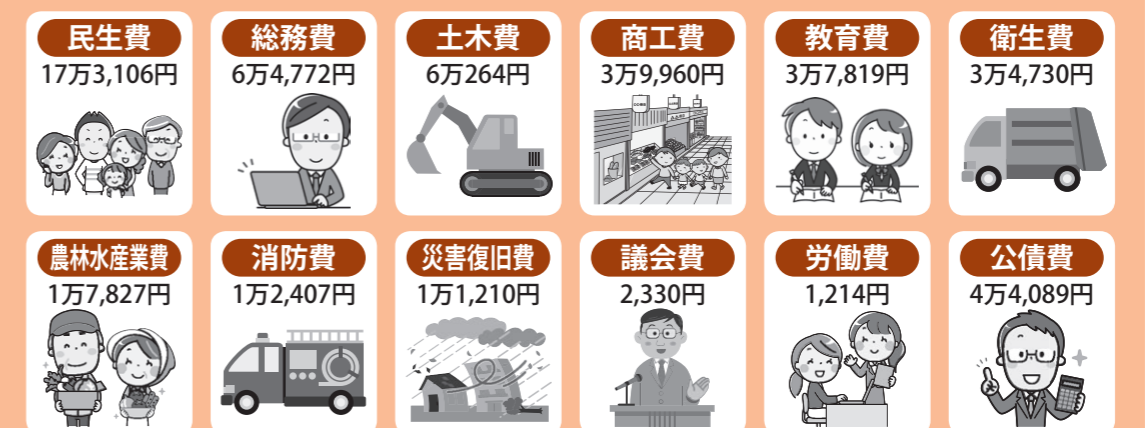
都市計画事業などに要する費用に充てるため、都市計画区域内の土地または家屋の所有者に納めていただく目的税です。

#### 【都市計画税を充てた主な事業】

- | 事業費              | 金額         |
|------------------|------------|
| ○街路の整備……………      | 1億5,192万円  |
| ○公園の整備……………      | 8,974万円    |
| ○下水道の整備……………     | 14億3,651万円 |
| ○上記事業の地方債償還…………… | 41億4,322万円 |

市民一人当たり換算すると **歳入51万9,530円** (前年度比16.1%減) **歳出49万9,728円** (前年度比17.7%減)

### 歳出内訳



※市民一人当たりの金額は、令和4年4月1日現在の住民基本台帳人口(154,134人)で割ったものです。

## 一般会計

一般会計の決算は、歳入(1年間に市に入ったお金)総額が800億7千万円余、歳出(1年間に市が使ったお金)総額は770億2千万円余となり、令和4年度へ繰り越す財源6億7千万円余を除いた実質収支は、23億7千万円余の黒字となりました。この実質収支から前年度実質収支(13億5千万円余)を除いた単年度収支は、10億2千万円余の黒字となりました。

#### 実質単年度収支

歳入(A)	800億7,717万円
歳出(B)	770億2,504万円
翌年度繰越財源(C)	6億7,411万円
前年度実質収支(D)	13億5,206万円
単年度収支(A-B-C-D)	10億2,595万円

# 令和3年度の決算状況を お知らせします

令和3年度の市の決算がまとまりました。皆さんに納めていただいた税金や国・県の補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。

◎表示単位未満を四捨五入しています。端数処理のため合計額は一致しないことがあります。

## 財政状況

財政の健全性を示す財政指標はいずれも、早期健全化基準を下回っており健全であることが示されています。実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字決算のため、該当がありませんでした。

指標	内容	結果	早期健全化基準*
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	— (5.81%黒字)	11.43%
連結実質赤字比率	全会計(一般、特別、企業)の赤字の割合	— (27.70%黒字)	16.43%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	5.3%	25.0%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	23.5%	350.0%

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要になります。

## 上田市の財産

### ●基金 265億8,012万円

市の貯金ともいえる基金を、令和3年度は合計で31.4億円を積み立てる一方、5.2億円を取り崩して、事業実施のために活用しました。

### 【基金の年度末現在高】(一般会計+特別会計)

○財政調整基金	40億7,381万円
○減債基金	54億8,423万円
○その他特定目的基金	148億1,682万円
○定額運用基金	22億 526万円

### ●市債残高 1,120億円

道路、学校、病院や下水道など社会資本整備のため市債(借入金)を活用しています。長期の借入を行うことで、財政負担を複数年に分け、計画的な財政運営を行っています。

区分	令和3年度末
一般会計	666億1,681万円
特別会計	1億7,631万円
企業会計	451億6,113万円
合計	1,119億5,425万円

●有価証券	7,120万円	
●出資による権利	29億2,987万円	
●土地	51,514,571㎡	
内訳	宅地	2,268,459㎡
	山林	41,436,373㎡
	その他	7,809,739㎡
●建物(延床面積)	675,362㎡	

## 特別会計

【歳入】354億円 【歳出】348億円

特別会計とは、特定の事業や資金などについて、その収支を明確にするための会計です。特別会計全体の決算額(歳出)は、前年度と比べると、6.8%、22億933万円の増となりました。

会計名	決算額	
	歳入	歳出
土地取得事業	4億6,620万円	4億6,620万円
同和地区住宅新築資金等貸付事業	1億6,939万円	1億6,939万円
国民健康保険事業	158億7,667万円	156億6,806万円
後期高齢者医療事業	21億 991万円	20億4,386万円
介護保険事業	165億2,754万円	162億9,910万円
駐車場事業	1億 379万円	1億 379万円
武石診療所事業	1億 933万円	9,459万円
合計	353億6,284万円	348億4,499万円



## 公営企業会計

【収入】136億円 【支出】171億円

公営企業会計とは、水道料金などの収益によって運営される会計です。企業会計全体の決算額(支出)は前年度と比べると、3.5%、5億7,665万円の増となりました。

会計名	収益的収支*1		資本的収支*2	
	収入	支出	収入	支出
真田有線放送電話事業	4,358万円	4,038万円	0円	17万円
産婦人科病院事業	4億7,739万円	5億3,269万円	805万円	1,681万円
水道事業	29億5,547万円	26億 371万円	4億9,484万円	22億4,737万円
公共下水道事業	61億3,844万円	47億5,863万円	17億8,695万円	49億1,970万円
農業集落排水事業	13億8,728万円	11億9,814万円	3億4,974万円	8億 489万円
合計	110億 215万円	91億3,355万円	26億3,958万円	79億8,895万円

※1 収益的収支：人件費、施設の維持管理費、減価償却費など経営活動に必要な経費  
 ※2 資本的収支：施設の整備・投資、借入金の償還金などの費用

# 文芸

## 短歌

小宮山 久子 選

秋の虫我の耳には遠すぎて声の元へと近寄りて聞く  
 看護師の明るい会話が始まってこの病院に夜がやって来た  
 草取りは私の精神安定剤庭の大木に山鳩の鳴く

松橋 敏生  
 長岡 保基  
 田中 美登

## 佳作

繕いてまたもや使う 嫁ぐ日に祖母縫いくれし炬燵の下掛け  
 工場へ向かう乙女等の高き声異国の言葉合唱のごとし  
 戦争のニュースはあへて聞き流す。心をもつていかれぬやうに  
 我が夫は朝に夕べに短歌を詠み苦楽を文字に表し残す

小林さよ子  
 永井 陶子  
 羽生田めぐ美  
 甲田 瑞枝

## 俳句

島田 洋子 選

雲海に白山浮かべ入日かな  
 ブランコに夕日を乗せて子等帰る  
 花びらを揚げ朝顔深呼吸

西牧 一明  
 勝見 稔  
 中野 康子

## 佳作

虫時雨今日の汚れを流すかに  
 日傘さし小さな影を持ち歩く  
 リフトの子足をゆらゆら花野風  
 向日葵の果てや互いに凭れ合ひ  
 高原にトライの汗が雄叫びが  
 風一陣着地決まらぬ揚羽蝶  
 上り坂よせよとばかり油蟬

宮入 和子  
 田中 美登  
 高木 和代  
 神田 愛子  
 君山 洋子  
 柳沢 幸子  
 若林みゑ子

## 川柳

斉藤 俊酔 選

ああ秋刀魚昭和の秋を懐かしむ  
 孫帰りに愉しい余韻残る居間  
 扇風機押しやり上羽織る朝

下村 正枝  
 大林 正樹  
 窪田 吉治

## 佳作

台風が逸れてと稲穂頭下げ  
 朝起きて先ずは畑に御挨拶  
 芸術の秋に五感を解き放つ  
 気負っても辞書を頼りに書く手紙  
 虫たちも少子化なのか寂しい夜  
 転ぶなど歩幅を狭く二本杖  
 盆で来て娑婆は暑いと先祖さん

清水 幸子  
 伊東 恒夫  
 大森乃里子  
 山岸 政子  
 竹内 栄  
 関 敏雄  
 金井 和敏

## 選者吟

坂上る日傘に浮力生まれけり

## 選者吟

阿弥陀クジ一本足して呼ぶ女神

## 「太陽と大地の聖地」上田市日本遺産だより



## 上田市日本遺産構成文化財紹介 vol.17

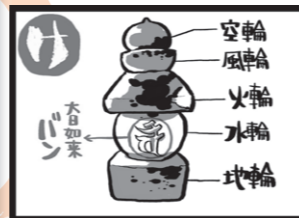
### 舞田の石造五輪塔



舞田の北側、仁古田へ通じる権之峠の麓に総高212cmの大きな五輪塔があります。五輪塔は真言宗や天台宗の密教に由来する供養塔や墓塔で、文字どおり5つの部位からできており、宇宙の構成要素を表しているとされています。

舞田にある五輪塔は、鎌倉時代の優品として知られ、県内で最も古く、最大のものと考えられることから、県宝に指定されています。鎌倉時代に源頼朝に仕えた金王丸土佐坊昌俊の墓塔といわれており、「金王五輪塔」とも呼ばれています。

■文化財所在地 舞田1007



### ●関連イベント

12月18日開催の「上田市日本遺産シンポジウム2022」は17ページをご覧ください。

☎ 上田市日本遺産推進協議会事務局(交流文化スポーツ課内) ☎75・2005